

Supermicro 社製マザーボードの BIOS 更新手順

BIOS 更新後は全ての BIOS 設定が初期化されますので、更新後は BIOS 情報の再設定をお願いいたします。なお、弊社出荷時の設定は、納品時に添付しております補足説明書(ご使用前にお読みください)に記載しております。※ビデオカード搭載の構成では、BIOS 更新後、ビデオ出力がオンボード側に移ります。更新後はオンボード側ディスプレイを差替えのうえ、補足説明書に沿って優先出力の設定をお願いいたします。

(1) 更新ファイルのダウンロード

Supermicro 社公式 HP の下記ページより、搭載しておりますマザーボードの対応状況をご確認ください。マザーボードのモデル名は、ご注文時の仕様書などをご参照ください(BIOS 設定画面からもご確認くださいませ)。

Information Disclosure

https://www.supermicro.com/support/security_Intel-SA-00088.cfm

当該のマザーボードが対応済みであれば、マザーボード製品案内のページにアクセスし、“Update Your BIOS”より最新の BIOS 更新ファイルをダウンロードして下さい。

(2) 更新用 USB メモリの準備

ダウンロードした zip ファイルを解凍し、展開されたフォルダ内のファイルを全て、USB メモリのルートディレクトリにコピーします。USB メモリは、市販されている一般的な製品をお使いいただけます。

(3) UEFI シェルの起動

準備した USB メモリをコンピュータの任意の USB ポートに接続し、コンピュータを起動します。Supermicro 社のロゴ画面(BIOS の起動画面となります)が表示されましたら、F11 キーを押下し、起動デバイスの選択画面を表示させます。押下のタイミングによってはキー入力が認識されない場合がございますので、一定間隔で何度か F11 キーを入力してください。

選択可能なデバイスの一覧が表示されましたら、矢印キーで“ the Build-In UEFI Shell”にカーソルを合わせ、Enter キーで決定します。直後に UEFI シェルが起動し、入力可能になると、プロンプトが表示されます。

(4) 更新コマンドの実行

プロンプトが表示されましたら、以下のコマンドを順次実行し、BIOS の更新を行います。

fs0:

```
flash.nsh X11xxx-xxx.xxx
```

※xxx にはマザーボードのモデルに応じて任意の文字列が入ります。更新前にファイル名を確認し、メモに控えておくのが確実です。また、fs0:コマンド実行後、“dir”コマンドを実行し、USB メモリ内のファイル一覧を表示・ご確認くださいませ。

コマンドを実行すると、BIOS 更新が始まります。更新が完了するまでは数分を要します。この間、特に操作は必要ございません。なお、更新中は、絶対にコンピュータの電源を切らないようご注意ください。更新中に意図せずコンピュータの動作が停止すると、マザーボードが破損し、起動できなくなるおそれがございます。また、USB メモリは更新が完了するまで取り外さないようご注意ください。

更新の進捗が全て表示され、再度プロンプトが表示されますと更新作業は完了です。電源スイッチでコンピュータをシャットダウン、再起動し、正常に起動することをご確認ください。